

文化の保存・継承、創造・発展について

【担当省庁：文部科学省】

ライフスタイルの変化等によって、かつては日常と共にあった日本の伝統的な文化が生活と切り離されるとともに、人口減少社会を迎えたことで、地域文化の担い手も減少し、京都の活力と魅力の源泉となってきた個性豊かな文化の継承が困難となっている。

個性豊かな文化の次世代への保存・継承を図り、ひいては新たな価値を創出するとともに文化の更なる創造・発展を図るため、以下の施策を講じていただきたい。

- 日本におけるアジア圏内のアート市場創出に向けた「ワールドアーツ・アンド・クラフツフェア京都」への「国際文化芸術発信拠点形成事業」での継続支援
- 京都府では、地域の文化資源の活用と地域文化の保存・継承につなげるため、地域にある社寺等の文化資源を活用して、生活文化や行帷事等を学ぶ機会を設けることとしており、本取組の「文化芸術創造拠点形成事業」での支援
- 文化の次世代への継承を図るためには、次世代を担う子どもたちの地域の伝統文化・生活文化に触れる機会の拡大が必要なことから、生活文化等教員体験促進事業や伝統文化親子教室事業（地域展開型）について、必要な予算の十分な確保
- 「古典」を国民全体に広く根づかせるため、国民文化祭の中に、古典文学などの魅力を伝えるフォーラムや和歌の祭典など「古典の日」の関連事業を国として盛り込むこと

京都府
の担当課

文化スポーツ部 文化政策課(075-414-4217) 文化芸術課(075-414-4219)

■概算要求 【文化庁】

- ▶ 国際文化芸術発信拠点形成事業 18.52億円（平成30年度予算12.6億円）
 - ・採択事業：「京都アーツ・アンド・クラフツ ワールド発信・流通戦略拠点形成事業」
 - ・採択額：38,000千円
 - ・事業内容 ARTISTS' FAIR KYOTO、京都ワールドクラフトフェア等

- ▶ 文化芸術創造拠点形成事業 23.12億円（30年度予算額23.12億円）

- ▶ 生活文化等教員体験促進事業 0.23億円（新規）
- ▶ 伝統文化親子教室事業（地域展開型） 13.19億円（30年度予算額12.69億円）
 - ・採択額：1,500千円
 - ・事業内容：地域の文化施設を活用した「失われつつある伝統文化」親子体験教室

■古典の日に関する法律（平成24年法律第81号）

（目的）第一条

この法律は、古典が、我が国の文化において重要な位置を占め、優れた価値を有していることに鑑み、古典の日を設けること等により、様々な場において、国民が古典に親しむことを促し、その心のよりどころとして古典を広く根づかせ、もって心豊かな国民生活及び文化的で活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

（定義）第二条

この法律において「古典」とは、文学、音楽、美術、演劇、伝統芸能、演芸、生活文化その他の文化芸術、学術又は思想の分野における古来の文化的所産であつて、我が国において創造され、又は継承され、国民に多くの恵沢をもたらすものとして、優れた価値を有すると認められるに至つたものをいう。

■古典の日法制化の経緯

- ▶ 源氏物語千年紀の成果を継承し、広く国民全体が古典に学び親しむ日として、11月1日を古典の日とする法律制定を京都から働きかけ、平成24年に実現
 - H20. 11. 1 源氏物語千年紀記念式典で「古典の日」宣言（11月1日を古典の日とする）
 - H21 古典の日推進委員会発足、「古典の日」法制化に向けて活動
 - H24. 3. 29 「古典の日」推進議員連盟設立
 - H24. 8. 29 「古典の日に関する法律」成立、9. 9公布・施行
- ▶ 古典の日推進委員会は、法制化後も「古典の日」の普及啓発・定着のため引き続き活動

■古典の日フォーラム2018の概要

- 趣旨：古典の日推進委員会のメインイベントとして開催。
古典の魅力を広く発信し、「古典の日」推進活動の更なる展開を促すことにより、全国及び全世代への普及・定着を図る。
- 日時：平成30年11月1日（木） 場所：京都劇場
国の主な取組：平成24年11月1日に古典の日記念シンポジウム（「古典の日フェスタ」）等を実施（それ以降なし）